




# 防災分野

## 研究領域

### 「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

採択年度	2020年	研究期間	5年間
研究課題名	ミャンマーの都市部における災害への備えのための定量的かつ総合的な地震リスク評価	貢献する主なSDGs	  
研究代表機関	京都大学 防災研究所		
相手国	ミャンマー連邦共和国	主要相手国研究機関	運輸通信省気象水文局
研究課題の概要			
<p>本研究は、災害常襲国でありながら経済発展を成し遂げた日本の経験と成果を共有・活用し、地震災害を予測する技術、発災時に被害を最小限に抑えるための市民の安全な避難行動に資する技術や迅速な復旧を可能とする技術などをミャンマーへ移転し、これらの組み合わせにより同国の災害リスクの効率的な低減を図るものである。具体的にはミャンマー都市部に敷設した強震観測網と同国既存の地震観測網の記録から震源推定を可能とするシステムを整備する。また、強震記録や微動記録に基づき、地域性・地盤特性を考慮した強震動および構造物被害の予測をふまえた定量的かつ総合的な地震リスク評価と社会への影響を含む災害インパクト評価を行い、これらを考慮した総合防災管理システムの構築と災害時対応マニュアルの作成を行う。平時には災害時対応マニュアルに基づいた災害時対応訓練や総合防災管理システムを活用したミャンマーの防災計画の策定支援を行う。</p>			